

教授会議事録

日時：平成 18 年 3 月 7 日（火）15 時 00 分から 17 時 05 分

場所：電気通信研究所大会議室

出席者：議長（所長）他教授 26 名、助教授 13 名

議事に先立ち、新任の助手から自己紹介があった。

議事録の確認

平成 18 年 2 月 7 日（火）開催の定例教授会議事録について、原案のとおり承認した。

I. 報告事項

1. 学内外諸会議等報告

(1) 部局長連絡会議

- ① 平成 18 年度科学技術振興調整費「女性研究者支援モデルプラン」への応募に係る計画構想等の概要について説明があったこと。特に、女性教員がいない部局については、2020 年までに講師以上 1 名を達成目標として協力願いたいこと。
- ② 科学研究費補助金の拡充・改革について、配付資料により説明があったこと。特に、若手研究者育成の充実、年複数回応募の試行、間接経費の拡充について、新たに導入されること。
- ③ 平成 16 年度決算剰余金の繰越について説明があり、利用方法を今後検討すること。
- ④ 教員組織における新制度に関する作業グループ（WG）を設置したこと。
- ⑤ 学内共同教育研究施設等のあり方について、配付資料により説明があったこと。
このことに関連して、情報シナジーセンター兼務教員である教授から、情報シナジーセンターの現状について報告があった。
- ⑥ 大学連携型企業家育成施設（BI 施設）の整備について、報告があったこと。
- ⑦ 平成 17 年度東北大学 HP のトピックス掲載件数及び新聞報道件数について、配付資料により説明があったこと。

なお、議長からは、更に活発な報道をしてほしい旨の依頼があり、種々検討した結果、東北大学 HP への発表方法について、通研のシステムを検討することとした。

(2) 全学労使懇談会

就業規則の改正及び新たな人事システムについて、説明を受けたこと。

(3) 研究所長会議

- ① 平成 18 年度各種委員会委員について、研究所長会議割当の委員である知的財産審査委員会委員を、選出したこと。
- ② 平成 18 年度からの研究所連携プロジェクト第Ⅱ期の部局推薦グループリーダーを選出したこと。
- ③ 片平まつり実行委員会委員の選出にあたり、片平まつりの実施時期と百周年行事実施時期が重なることから、百周年記念行事委員会（仮称）の委員と兼ねないように選出したいこと。

(4) 男女共同参画委員会

平成 18 年度科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル事業」に「杜の都女性科学者ハードリング支援事業」を申請した旨、配付資料に基づき報告があり、達成目標に「2020 年までに女性の講師・助教授・教授が 0 名の部局は 1 名以上にする。」との文言があり、通研に対しても何らかの対応を求められることの説明があった。また、金研等他部局の取り組み及び名古屋大学のポジティブアクションの紹介があった。

(5) 学際科学国際高等研究センター運営委員会

- ① 教授の転出に伴い教授選考委員会を立ち上げたこと。
- ② 平成 18 年度プログラム研究の公募が始まり、詳細は Web 上に掲載しているので、応募してほしい

いこと。

2. 運営会議等報告

(1) 研究企画戦略室

- ① 情報通信研究機構 (NICT) との研究交流会を、平成 18 年 2 月 27 日 (月) に実施したこと。NICT 側からは、理事をはじめ 8 名の参加があり、ネットワーク関係について討論したこと。また、NICT の次期中期計画の概要説明及び人事交流について意見交換したこと。
- ② 全国共同利用の評価について、共同プロジェクト研究の実態を把握するためのアンケートを実施するので、協力願いたいこと。具体的には、共同プロジェクト研究から他のプロジェクトに発展した例、国際会議開催、国際共同研究等について調査したいこと。
- ③ 平成 18 年 3 月 8 日 15:30 から、SCS により大学教職員のための大学認証評価の研修会が実施されること。

(2) 安全衛生委員会

- ① レーザー機器の取扱いの安全対策について、下記の報告及び依頼があった。
 - ・ レーザー機器管理者は各研究室ごとに選出することとし、通研全体の管理は安全衛生管理室で行うこと。
 - ・ レーザー機器管理者の連絡会を早急に開催し周知徹底を図ると共に、4 月開催の安全衛生講習会で再度注意を促すこと。
 - ・ 「レーザー機器の安全管理チェックシート」の作成は、機器ごとに行うこと。
- ② 実験室の環境について、計測機器等を目の高さ以上に置く場合は、転倒・落下防止のため、ストップパー等 (L アングル等) の滑り止めを設置してほしいこと。

(3) 建物環境委員会

共通研究スペースについて、借用申込み案内を本日発送したので、来年度も積極的に申請願いたいこと。

なお、配付資料のうち、S108 を新たに技術部室としたこと。また、S23-2 については木下研、W219 は現在空スペースであることの修正があり、現在は N 棟 2 階と E 棟が空いている旨の付言があった。

(4) 学部教務委員会

2 月 27 日開催の工学部教務委員会並びに、2 月 28 日及び 3 月 3 日開催の系内学部教務委員会の通研関連事項について、配付資料により報告があり、特に、次のことについて付言があった。

- ① 学生の追加配属及び再配属について、3 月 20 日以降に決定し通知すること。
- ② 次期学部教務委員会委員を選出したこと。
- ③ 2 月 23・24 日に実施した工場見学会について、通研の教授に引率いただいたこと。
- ④ 通研の配属希望が少なかったため、研究室配属アンケートを実施した経緯があり、アンケート調査の結果、やはり通研の人气が低く危機感を感じており、研究室見学方法等について議論する必要があるのではないかとのこと。

なお、④の報告を受け、議論した結果、研究室見学方法等を総務委員会で検討することとした。

3. 部局評価のヒアリングについて

議長から、2 月 22 日に部局自己評価に係るヒアリングを受け、下記の点について指摘があり、①については修正し、再度提出すること。

- ① 報告書を作成する上で特に、教育・研究・社会貢献活動の理念、目標、それを実現するための具体的取り組みを階層的に記載する必要があったこと。
- ② 女性教員が 0 であり、助手からでもいいので採用してほしいこと。
- ③ 学生の配属数が多いので、学生に対する対応について、踏み込んだケアをする必要があるのではないか。

4. 平成 17 年度業務実績評価について

議長から、全国共同利用の評価について、配付資料により実施状況の調査依頼があり、協力願いたい旨の報告があった。

5. その他

- (1) 議長から配付資料に基づき、受託研究の受け入れについて報告があった。
- (2) 議長から配付資料に基づき、職員の受賞について報告があった。
- (3) 議長から配付資料に基づき、受託研究員の受け入れについて報告があった。
- (4) 議長から配付資料に基づき、受託研修員の受け入れについて報告があった。

このことに関連して、工学研究科及び情報科学研究科では、高専との協定に基づく協定内の研究員として受け入れることになったようであるが、通研も同様の措置が取れないかとの質問があり、議長からは、通研にも協定の申し入れがあったが、協定内の研究員の位置付けが明確でなかったので断った経緯があること。しかし、通研は全国共同利用の研究所であるので、共同プロジェクト研究として受け入れることは可能であるので、応募してほしい旨を伝えたとの報告があった。

なお、共同プロジェクト研究として受け入れた場合は、通研内にその身分がないことから履歴書等に身分を記載できないので、何らかの名称若しくは受け入れ方法について、検討してほしい旨の発言があった。

- (5) ナノ・スピンの総合研究棟共同利用スペース運営委員会委員長から、ナノ・スピン総合研究棟共同利用スペースの使用申請について、貸出先を運営委員会で審議し決定したことの報告があった。
- (6) 2月8・9日に開催した通研国際ワークショップについて、131名（うち外国から17名）の参加があり、盛会のうちに無事終了した旨の報告及び協力に対する謝辞が述べられた。

II. 協議事項

1. 助教授人事について

- (1) 選考委員会委員長から、ナノ・スピン実験施設ナノスピンメモリ研究部助教授候補者について、配付資料に基づき詳細な説明の後提案があり、投票を行った結果承認した。
- (2) 議長から、ブロードバンド工学研究部門超ブロードバンド信号処理研究分野助教授候補者の選考をしたい旨の提案があり、承認した。
引き続き、選考委員会委員の提案があり、承認した。

2. 教育研究評議員の選出について

- (1) 議長から、現教育研究評議員の任期満了に伴う次期教育研究評議員の選出方法について、下記のとおり説明があり選挙を実施した。
 - ① 候補者については、専任の教授であること。
 - ② 候補者の推薦については、教授会が行うこと。
 - ③ 単記無記名投票による選挙を行い、過半数を得たものを当選者とする。
 - ④ 過半数を得た者がいない場合は、上位2名による決選投票を行うこと。
 - ⑤ 決選投票の結果、同数の場合はくじ引きとすること。
- (2) 1回目の投票の結果、過半数を得た者がなかったので、上位2名による決選投票を行い、矢野教授を教育研究評議員候補者（任期：平成18年4月1日～平成20年3月31日）に選出した。

3. 名誉教授の推薦について

議長から、名誉教授の称号授与について配付資料により説明があり、承認した。

4. 助手の任用について

議長から、誘電ナノデバイス研究分野助手候補者について、配付資料に基づき説明及び提案があり、

承認した。

5. 教員の退職等について

議長から、教員の退職等について、配付資料に基づき説明があり、承認した。

6. 産学官連携研究員の任用について

議長から、産学官連携研究員の任用について、配付資料に基づき説明があり、承認した。

7. 研究支援者の任用について

議長から、研究支援者の任用について、配付資料に基づき説明があり、承認した。

8. 規程の改正について

東北大学電気通信研究所放射線障害予防規程の改正について、放射線障害予防委員会委員長から、配付資料に基づき説明があり、承認した。

9. 共同プロジェクト研究の採択について

共同プロジェクト実施委員会委員長から、配付資料に基づき提案があり、資料の一部を修正し、承認した。

このことに関連し、予算が決定していない段階で採択を決議するののかとの質問があり、予算については、前年度並みの額が確保できることを前提に採択したとの発言があった。また、限られたわずかな予算であるにもかかわらず件数が増加しているが、実施方法を変更すること等は考えていないのかとの質問があり、共同利用委員会委員長からは、総額 3,000 万円程度とわずかな予算であるが、将来の大型プロジェクトのシーズとなることを目的としているので方向としては、問題ないのではないかとの発言があり、副所長（研究企画）から、今後の方針については、共同利用委員会及び共同プロジェクト実施委員会で検討してもらいたい旨の付言があった。

10. IT-21 センター長及び運営委員長の選出について

IT-21 センター長から、次期の IT-21 センター長及び IT-21 センター運営委員会委員長について、提案があり承認した。

11. ナノ・スピンの実験施設長、運営委員及び運営委員長の選出について

ナノ・スピン実験施設長から、次期のナノ・スピン実験施設長、ナノ・スピン実験施設運営委員会委員及び委員長について、提案があり承認した。

12. 外部評価委員候補者について

副所長（総務）から、配付資料に基づき説明及び提案があり、承認した。なお、候補者となった委員について、推薦者から内諾を取ってもらいたい旨の依頼があった。

13. 各種委員会等委員の選出について

議長から、配付資料に基づき、改選が必要になる委員会委員について説明があり、承認した。なお、次期候補者が未定である場合は、留任願いたいこと。また、変更する場合は次期候補者を提案願いたい旨の依頼があった。

14. 大学間学術交流協定について

議長から、東北大学とドレスデン工科大学との大学間学術交流協定について、配付資料に基づき説明の後、通研が世話部局となり締結したい旨の提案があり承認した。

15. 教員の兼務について

議長から、平成 18 年度前期学生実験指導のための教員の兼務について、配付資料に基づき説明があり承認した。

Ⅲ. その他

1. 総長候補者の選考に係る意向投票の実施について

議長から、下記のことについてアナウンスがあった。

投票日及び場所：3月9日（木）9：00～13：00、本部第三会議室

期日前投票の日程及び場所：3月2日（木）～3月8日（水）9：00～17：15、通研総務課長室

2. 平成 19 年度概算要求について

議長から、特別教育研究経費の要求については、各研究分野等に 3 月 15 日を締切りとして照会中であるが、平成 19 年度概算要求の締切りが 4 月 6 日であるため、所長に一任願いたい旨の発言があり、承認した。

なお、平成 16 年度から 5 年間の継続事業である 2 件（ナノエレクトロニクス国際共同研究拠点創出事業、革新的情報通信基盤技術創出プロジェクト）については、引き続き要求すること。

継続して要求していた施設整備費については、青葉山移転計画の関連で施設部と調整しながら進めたいとの付言があった。

3. 平成 18 年度過半数代表者について

総務課長から、平成 18 年度過半数代表者について、決定した旨の報告があった。

4. その他

(1) 移転に伴う新棟建設に関するアンケートについて

移転対応プロジェクト委員会委員長から、配付資料に基づき説明があり、アンケートを 3 月 16 日（木）まで庶務係に提出願いたい旨の依頼があった。

なお、アンケートの内容について、一部不足する部分があったので、Eメールで送ること。

また、技術部、評価分析センター、やわらかい情報システム研究センター等の通研共通の施設に対しても、個別に願う旨の付言があった。

(2) 総務委員会から、時期は未定であるが、1 号館記念資料室の改修工事を行うこと及び、八木・宇田アンテナを修繕することについて報告があった。

(3) 3 月 31 日付けの退職者から、挨拶があった。

(4) 教授会懇談会について、教授会懇談会幹事長から報告があった。